

## 新宮山彦ぐるーぷ第2213回

### 深仙宿避難小屋の破損した窓ガラス交換

◇実施日 12月13日(火)、12月16日(金) 曇

◇参加者 梶野照雄 1名

ネットの画像で深仙宿避難小屋の窓ガラスが割れているらしいことが判り、冬を迎えてこのままの状態ではおおくことが出来ず、2回に渡って深仙宿へ行くことになった。



登山口、13日

深仙宿

南側の窓

12月13日、朝から雨が降っていたが、レジャーで雨雲の動きを見ると午前11時には雨が止むようなので、8時に家を出た。旭橋まで来ると雨は止んで、登山口でも雨は降っていない。雨の後なので、気温は低くは無いがガスで一面真っ白、頭が濡れそ

うなのでヘルメットを帽子代わりに被っていた。夏と違って汗をかかないので、千丈平まで休憩なしで歩く。1500m位から上は雪が残っていた。2時間20分で深仙宿に着く。小屋の窓は内側から保温マットで塞がれていた。外に回って確認すると、やっぱりガラスが割れている。塞いでいるマットを取り除いてガラス片を取って窓サッシを外す。変形があるかを心配していたが、サッシに異常は無い。ガラスを嵌めるだけで済みそうだ。



屋外から

合板で塞ぐ

持ち降ろした窓サッシ

窓を塞ぐために持ってきた合板を当ててみるが、少し短くて隙間ができる。窓を取り付けた際に切り取った壁の合板を切って継ぎ足した。11時から強風が吹きだし、気温も下がり始めた。合板取付のため木ネジをつまもうとするが、指先がしびれて感覚が無くなりなかなかうまくつかめない。ネジを打つだけの作業に15分もかかってしまった。

なんとか窓を塞ぎ終えて簡単に昼食を済ませる。午後2時半に深仙宿を後にする。午後3時までに出発できれば、と考えていたが30分早く出発出来たので、ライトの出番は無かった。

### 行動タイム

太尾登山口 11:08→12:18 古田の森→12:49 千丈平→13:18 深仙宿 14:21→15:01 千丈平→15:30 古田の森→16:32 太尾登山口

翌14日、近所のサッシ屋に窓サッシを持って行きガラスを嵌めてもらう。大普賢岳で熊に登山者が襲われたというニュースがあり、現場付近は吹雪になっていらいしい。釈迦ヶ岳でも降雪していると思つて、天候が落ち着きそうな16日に窓の交換を行うことにした。



登山口、16日

千丈平

深仙宿

16日は朝からいいお天気だったが、登山口はガスで強風、途中の道にも積雪があった。13日が寒かったので今日は服装を厳冬期

仕様に変更、靴も新しいものにした。そのためか寒さはあまり感じず、強風、低温にもかかわらず快適に歩くことが出来た。古田の森手前で降りてきた登山者と出会う。天候が良くないので途中で引き返してきたそうだ。



合板を外す

交換完了

2時間15分で深仙宿に到着。窓を塞いでいる合板を取り外す。サッシのレールに残っていたガラスの破片を取り除いて、持ってきた窓サッシを嵌める。すんなりと入って交換は終了。外れていた網戸も難無く入った。

作業中に登山者が一名小屋に入ってきた。大日岳まで行ってきたそう。小屋に入って、ガラス戸を包んできた段ボールを燃やして昼食を摂る。少しの火でも小屋内は暖かく感じられる。隙間から入り込んでいた雪を掃除し、窓を塞いでいた合板を背負子に括って深仙宿を後にする。相変わらず強い風が吹いているが、晴れ間が少し出てきて見通しもよくなった。古田の森からは釈迦ヶ岳や大日岳がよ

く見えるようになった。



小屋内で



古田の森付近から



合板を持ち帰る

(記；梶野)

### 行動タイム

太尾登山口 09:00 → 10:11 古田の森 → 10:42 千丈平 → 11:15 深仙  
宿 12:30 → 13:12 千丈平 → 13:43 古田の森 → 14:53 太尾登山口